

小学校 高学年 国語 「物語文の読み取り②」

() 年 () 組 () 番 名前 ()

☆ 次の文章を読んで、答えましょう。

小田原・熱海間に 軽便鉄道敷設の工事が始まったのは、良平の八つの年だった。

良平は毎日村外れへ、その工事を見物に行つた。工事を――といったところが、たどトロッコで土を運ばんする――それがおもしろさに見に行つたのである。

トロッコの上には土工がふたり、土を積んだうしろにたたずんでいる。トロッコは山を下るのだから、人手を借りずに走つてくる。あおるよう^{どここう}に車台が動いたり、土工のはんてんのそそがひらついたり、細い線路がしなつたり――良平はそんなけしきをながめながら、土工になりたいと思うことがある。せめては一度でも土工と一緒に、トロッコへ乗りたいと思うこともある。

トロッコは村外れの平地へ来ると、自然とそこに止まってしまう。と同時に、土工たちは、身軽にトロッコを飛びおりるが早いか、その線路の終点へ車の土をぶちまける。それから、こんどはトロッコを押し押し、もと来た山の方へ登りはじめる。良平はそのとき、乗れないまでも押すことさえできたらと思うのである。

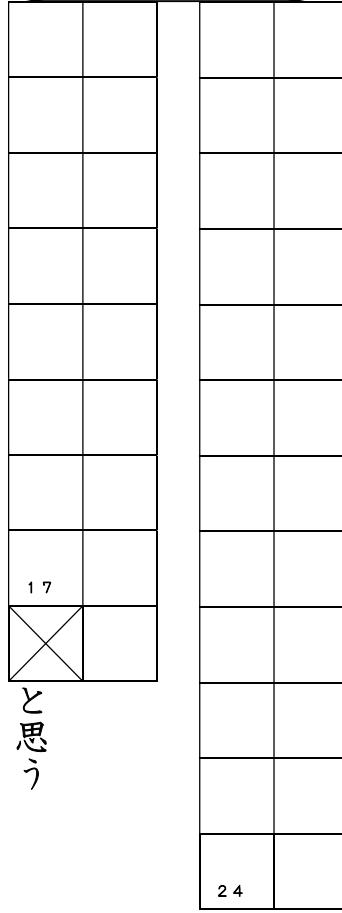
※「トロッコ」 芥川 龍之介

(一) 良平がトロッコや土工にあこがれている様子が書いてあります。

「土工になりたいと思う」のほかに、二力所さがして、マスがぴったりうまる

ように書き出しましょう。

あくたがわりゅうの
芥川 龍之介 の
作品を読んでみ
よう。「くもの糸」
「杜子春」「鼻」
などがあるよ!



と思う

と思う

24

と思う

17

た		
り		
、		
細		
い		
線		
路		
が		
し		動
な		い
つ		た
た		り
り		、

(二) トロッコが下るときスピードがあつて音が聞こえてきそうな文章があります。

そのまま次のわくの中に書き写しましょう。

